

財務報告書 2023

令和4事業年度

令和4年4月1日～令和5年3月31日



札幌医科大学
SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY

目次

1. 財務概要	…P1
2. 令和4事業年度財務諸表の要約	…P3
3. 過去6年間の推移	…P8
4. 財務指標（年度間比較）	…P16
5. 資料編	
(1) 貸借対照表	…P17
(2) 損益計算書	…P20

○財務概要

資産・負債・純資産の状況

「貸借対照表」は令和4年度末における財務状態を表したものです。
 「資産」は前年度比155億円増加の750億円、「負債」は前年度比7億円減少の152億円、また「純資産」は前年度比163億円増加の598億円となっています。

貸借対照表

【令和5年3月31日】

(単位：億円)

区分	3年度	4年度	増減
資産の部	595	750	155
【固定資産】	455	613	158
土地	119	119	0
① 建物等	262	427	165
② 備品	63	57	▲6
図書	8	8	0
その他固定資産	2	2	0
【流動資産】	140	137	▲3
③ 現金・預金	64	53	▲11
有価証券	0	0	0
④ その他流動資産	76	84	8
資産合計	595	750	155

区分	3年度	4年度	増減
負債の部	159	152	▲7
④ 資産見返負債	35	35	0
借入金	14	15	1
⑤ 未払金	62	60	▲2
寄附金債務	13	13	0
⑥ その他負債	35	29	▲6
純資産の部	435	598	163
⑦ 資本金	434	610	176
資本剰余金	▲60	▲76	▲16
⑧ 利益剰余金	61	64	3
負債・純資産合計	595	750	155

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

資産の部

①建物等：427億円（165億円増加）

- ・建物(大学管理棟、教育研究棟)の出資等による増
- ・減価償却等による減

②備品：57億円（6億円減少）

- ・新規取得による増
- ・減価償却による減

③現金・預金：53億円（11億円減少）

- ・未収病院収入の増
- ・未払金の減

④その他の流動資産：84億円（8億円増加）

- ・基金・国保未収分の増
- ・医薬品・診療材料の在庫量の増

負債の部

④資産見返負債：35億円（昨年度同額）

- ・資産取得による増
- ・減価償却による減
- ・資産除却等による減

⑤未払金：60億円（2億円減少）

- ・翌年度支払となる年度末の物品調達等の減少に伴う、未払金の減

⑥その他負債：29億円（6億円減少）

- ・リース料支払いによる長期未払金の減
- ・資産除却債務の計上に伴う増

純資産の部

⑦資本金：610億円（176億円増加）

- ・建物の出資による増

⑧利益剰余金：64億円（3億円増加）

- ・当期純利益による増
- ・目的積立金の取崩しによる減

費用・収益の状況

「損益計算書」は令和4年度の運営状況（経営成績）を表したものです。

「経常費用」は前年度比13億円増加の393億円、「経常収益」は前年度比5億円増加の397億円です。
この差額に臨時損益を加えた「当期総利益」は、前年度比13億円減少の8億円です。

損益計算書

【令和4年4月1日～令和5年3月31日】

(単位：億円)

区分	3年度	4年度	増減
教育・研究等経費	24	23	▲1
① 診療経費	183	194	11
受託研究・事業費	5	4	▲1
② 人件費	161	165	4
一般管理費	7	7	0
財務費用	0	0	0
経常費用	380	393	13
臨時損失	0	0	0
当期総利益	21	8	▲13
計	401	401	0

区分	3年度	4年度	増減
③ 運営費交付金収益	62	69	7
④ 附属病院収益	256	264	8
学生納付金収益	8	8	0
外部資金収益	11	10	▲1
⑤ 補助金収益	46	33	▲13
その他収益	8	14	6
経常収益	392	397	5
臨時利益	0	0	0
繰越(目的)積立金取崩	9	4	9
計	401	401	0

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

経常費用

① 診療経費：194億円（11億円増加）

- ・ 医薬品費等の増
- ・ 減価償却費の増
- ・ 水道光熱費の増

② 人件費：165億円（4億円増加）

- ・ 給与改定による増
- ・ 欠員補充等に伴う職員の増
- ・ 処遇改善手当の増
- ・ 退職手当の減

経常収益

③ 運営費交付金収益：69億円（7億円増加）

- ・ 運営費交付金の受入額の増

④ 附属病院収益：264億円（8億円増加）

- ・ 入院診療収益の増
- ・ 外来診療収益の増

⑤ 補助金収益：33億円（13億円減少）

- ・ 新型コロナウイルス関連補助金の減
- ・ 物価高騰対策支援関連補助金の増

○令和4事業年度財務諸表の要約

貸借対照表～法人の財政状態を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

資産の部		
I	固定資産	61,298
1	有形固定資産	61,135
	土地	11,881
	建物	41,887
	構築物	836
	工具器具備品	5,699
	図書	762
	その他	70
2	無形固定資産	108
	特許権	18
	意匠権	0
	ソフトウェア	49
	その他	41
3	投資その他の資産	55
	投資有価証券	-
	未収財源措置予定額	-
	その他	55
II	流動資産	13,659
	現金及び預金	5,280
	未収学生納付金収入	3
	未収附属病院収入	5,305
	有価証券	-
	医薬品及び診療材料	675
	たな卸資産	14
	未収入金	2,363
	その他	18
	資産合計	74,957
運用状況		

負債の部		
I	固定負債	6,089
	資産見返負債	3,493 ※1)
	長期寄附金債務	419
	長期借入金	1,478
	引当金	5
	長期未払金	449
	資産除去債務	246
II	流動負債	9,078
	運営費交付金債務	378
	寄附金債務	1,314 ※2)
	前受受託研究費等	471
	一年以内返済長期借入金	579
	未払金	5,981 ※3)
	その他	354
	負債合計	15,168

純資産の部		
I	資本金	61,021 ※4)
II	資本剰余金	▲ 7,585 ※5)
III	利益剰余金	6,353
	前中期目標等期間繰越積立金	2,064 ※6)
	目的積立金	3,026
	積立金	455
	当期末処分利益	808
	純資産合計	59,789
	負債・純資産合計	74,957
調達源泉		

【流動資産】
資産のうち、1年以内に現金化されるもの

【固定資産】
業務目的を達成するために所有し、加工又は売却を予定しない財貨

【純資産】
業務実施のため与えられた財産的基礎、及び業務に関連した剰余金

【流動負債】
負債のうち、1年以内に返済または支払うもの

【固定負債】
負債のうち、1年を超える長期にわたって返済又は支払うもの

- ※1) 資産見返負債～運営費交付金、授業料、寄附金等を財源として資産を取得した場合、取得時に資産同額の負債を計上します。当該資産の減価償却相当額を資産見返負債戻入として収益化し、収支均衡を行うための地方独立行政法人独自の勘定科目です。
- ※2) 寄附金債務～翌期以降に使用される予定で繰越される寄附金の残高です。
- ※3) 未払金～1年以内に支払予定の人件費・リース債務に係る未払金及びその他の未払金です。
- ※4) 資本金～道出資金（法人移行時に道から現物出資を受けた土地、建物等）の総額です。
- ※5) 資本剰余金～目的積立金や施設費で固定資産を取得した時、または非償却資産の取得時に、相当額を計上します。当該資産で生じる減価償却相当額は費用化せずに、資本剰余金から直接控除（損益外減価償却）します。
- ※6) 前中期目標等期間繰越積立金～前中期目標期間から繰り越しが認められた剰余金です。

損益計算書～法人の運営状況を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

費用	経常費用	39,304	
	業務費	38,650	
	教育経費	581	
	研究経費	1,271	
	診療経費	19,358	
	教育研究支援経費	489	※1)
	受託研究費	257	
	共同研究費	39	
	受託事業費等	121	
	人件費	16,535	
	一般管理費	653	
財務費用	1	※2)	
収益	経常収益	39,678	
	運営費交付金収益	6,856	
	授業料等収益	801	
	附属病院収益	26,356	
	受託研究収益	318	
	共同研究収益	45	
	受託事業等収益	140	
	寄附金収益	519	
	施設費収益	10	
	補助金収益	3,270	
	資産見返負債戻入	552	※3)
	財務収益	1	
	雑益	812	
経常利益	374		
臨時損失	7		
臨時利益	1		
当期純利益	369		
前中期目標等期間繰越(目的)積立金取崩額	439		
当期総利益	808		

【業務費】
 ・目的別に「教育」「研究」「診療」「人件費」等に分類
 ・「教育経費」「研究経費」等の業務費は、施設設備に係る減価償却費・保守経費を含む
 ・「受託研究費」「共同研究費」「受託事業費等」は、受託研究等に係る人件費を含む

【経常収益】
 ・「運営費交付金収益」及び「授業料等収益」は、資産を取得した分を除いた収益額
 ・「運営費交付金」「寄附金」等で翌期以降に使用予定の額は債務（流動負債）として翌期へ繰越

【臨時損失】
 ・臨時損失は、固定資産除却等を計上

※1) 教育研究支援経費～附属総合情報センター等の大学全体の教育研究を支援する施設の運営経費です。

※2) 財務費用～附属病院にかかる借入金の支払利息

(償還利率 ㉑0.125%、㉒0.01%及び0.1%、㉓0.01%及び0.1%、㉔0.001%、㉕0.125%、㉖0.359%)

※3) 資産見返負債戻入～運営費交付金、授業料、寄附金等の財源で取得した固定資産の減価償却に伴って収益計上し、損益を均衡させます。

キャッシュ・フロー計算書～現金の出し入れを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	1,661
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 19,570
人件費	▲ 16,637
その他の業務支出	▲ 625
運営費交付金収入	6,914
授業料収入	637
入学金収入	80
検定料収入	15
附属病院収入	25,708
受託研究収入	382
共同研究収入	27
受託事業等収入	131
補助金等収入	3,735
補助金等の精算による返還金の支出	▲ 17
寄附金収入	565
預り科学研究費補助金等増減	▲ 4
その他収入	320
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,739
有価証券の取得による支出	▲ 352
有価証券の償還による収入	352
有形固定資産の取得による支出	▲ 2,438
無形固定資産の取得による支出	▲ 9
定期の預入による支出	▲ 2,500
定期の払出による収入	2,500
施設費による収入	708
利息及び配当金の受領額	1
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 993
長期借入れによる収入	630
長期借入金返済による支出	▲ 654
ファイナンスリース債務の返済による支出	▲ 968
利息の支払額	▲ 1
IV 資金に係る換算差額	-
V 資金増加額 (I+II+III+IV)	▲ 1,071
VI 資金期首残高	6,351
VII 資金期末残高 (V+VI)	5,280

【業務活動】
教育・研究・診療など通常業務に伴う資金の出入りを表すもの

業務活動による資金調達 17億円

【投資活動】
固定資産取得や売却、余裕金の運用など投資活動に伴う資金の出入りを表すもの

投資活動への資金利用 ▲17億円

【財務活動】
借入金による資金の調達や返済など財務活動に伴う資金の出入りを表すもの

財務活動への資金利用 ▲10億円

令和4年度キャッシュ増加額
▲11億円

注) キャッシュ・フロー計算書とは、資金の調達や運用状況を明らかにするため、一会計期間の資金の流れを「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分に分けて表示し、報告するものです。

利益の処分に関する書類

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

I 当期末処分利益	808
当期総利益	808
II 利益処分類	808
目的積立金	262
積立金	546

決算報告書～予算の区分による決算を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

区 分	予算	決算	差額	備考
収入	41,094	41,485	391	
運営費交付金	7,271	7,377	106	(※1)
施設整備費補助金	443	398	▲ 45	(※2)
自己収入	31,335	31,532	197	
授業料及び入学検定料収入	813	797	▲ 16	(※3)
附属病院収入	28,176	26,356	▲ 1,820	(※4)
雑収入	2,346	4,379	2,033	(※5)
受託研究等収入及び寄附金収入等	857	985	128	(※6)
長期借入金収入	634	630	▲ 4	
目的積立金取崩収入	554	563	9	
支出	41,094	40,799	▲ 295	
業務費	38,359	38,482	123	
教育研究経費	1,878	1,969	91	(※7)
診療経費	18,684	19,234	550	(※8)
人件費	17,234	16,526	▲ 708	(※9)
一般管理費	563	753	190	(※10)
施設整備費	1,028	913	▲ 115	(※11)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	639	748	109	(※12)
長期借入金償還金	1,068	655	▲ 413	(※13)
収入－支出	-	686	686	

注) 決算報告書とは、公立大学法人等の運営の見込みである年度計画の予算と決算を対比して表すことにより、その運営状況を報告しようとするものです。官庁会計に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえて一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

- ※1) 北海道との協議により運営費交付金の一部を増額したため、予算額に比して決算額が106百万円増加しました。
- ※2) 入札結果に基づく契約確定額の減等により、予算額に比して決算額が45百万円減少しました。
- ※3) 大学院在籍者数の減に伴う授業料収入の減等により、予算額に比して決算額が16百万円減少しました。
- ※4) 入院患者減少等により、予算額に比して決算額が1,820百万円減少しました。
- ※5) 期中における補助金の獲得等により、予算額に比して決算額が2,033百万円増加しました。
- ※6) 寄附金及び受託研究の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が128百万円増加しました。
- ※7) 光熱水費高騰等により、予算額に比して決算額が91百万円増加しました。
- ※8) 光熱水費高騰等により、予算額に比して決算額が550百万円増加しました。
- ※9) 教職員人件費や退職手当所要額の減により、予算額に比して決算額が708百万円減少しました。
- ※10) 光熱水費高騰等により、予算額に比して決算額が190百万円増加しました。
- ※11) 注2に示した理由等により、予算額に比して決算額が115百万円減少しました。
- ※12) 注6に示した理由等により、予算額に比して決算額109百万円増加しました。
- ※13) 北海道との協議による償還の方法、時期の見直し等により、予算額に比して決算額が413百万円減少しました。

○過去6年間の推移

財務情報一覧

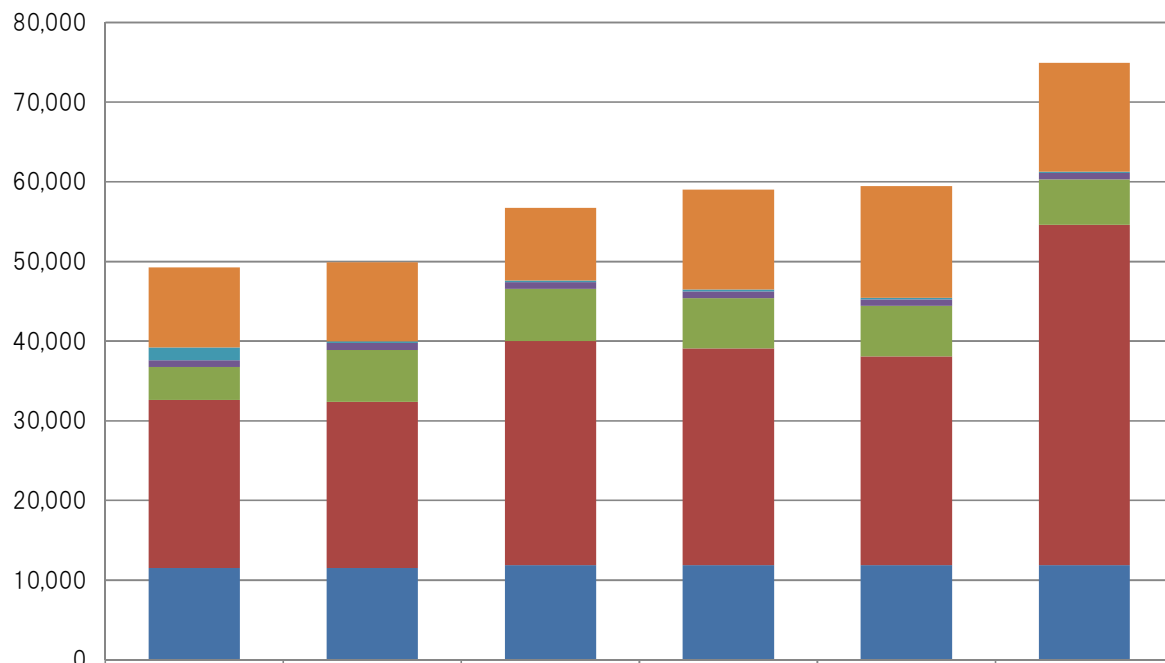
- 本学の財務情報を一覧で表示しています。
- 各項目の詳細については、それぞれのページを参照願います。

(単位：億円)

区分	情報の種類	項目等	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	ページ
資産・負債 ・純資産	年度末時点 での財務の 状況	資産	492	499	567	590	595	750	P 9 ～ P10
		うち固定資産	392	400	476	465	455	613	
		負債	135	144	145	157	159	152	
		うち借入金	17	16	16	15	14	15	
		純資産	357	355	422	434	435	598	
費用・収益	1年間の財務 運営の状況	経常費用	335	345	360	368	380	393	P11 ～ P12
		うち人件費	156	156	158	160	161	165	
		経常収益	337	343	357	388	392	397	
		うち運営費交付金	62	66	65	69	62	69	
利益と 利益処分	利益の発生 要因	当期総利益	1	5	▲ 1	20	21	8	P13
		目的積立金	1	-	-	18	17	3	
		繰越積立金	-	-	▲ 1	-	-	-	
		積立金	-	5	-	2	3	5	
附属病院 業務損益	附属病院の 1年間の財務 運営状況	業務費用	249	260	276	283	292	306	P14
		業務収益	249	257	272	301	303	304	
		業務利益	0	▲ 3	▲ 4	17	11	▲ 1	
キャッシュ ・フロー	資金の流れ (活動ごとの 現金の収入 と支出の差)	業務活動	15	14	11	39	27	17	P15
		投資活動	▲ 9	▲ 11	▲ 7	▲ 12	▲ 4	▲ 17	
		財務活動	▲ 3	▲ 8	▲ 9	▲ 9	▲ 10	▲ 10	
		資金期末残高	43	38	33	51	64	53	

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

資産

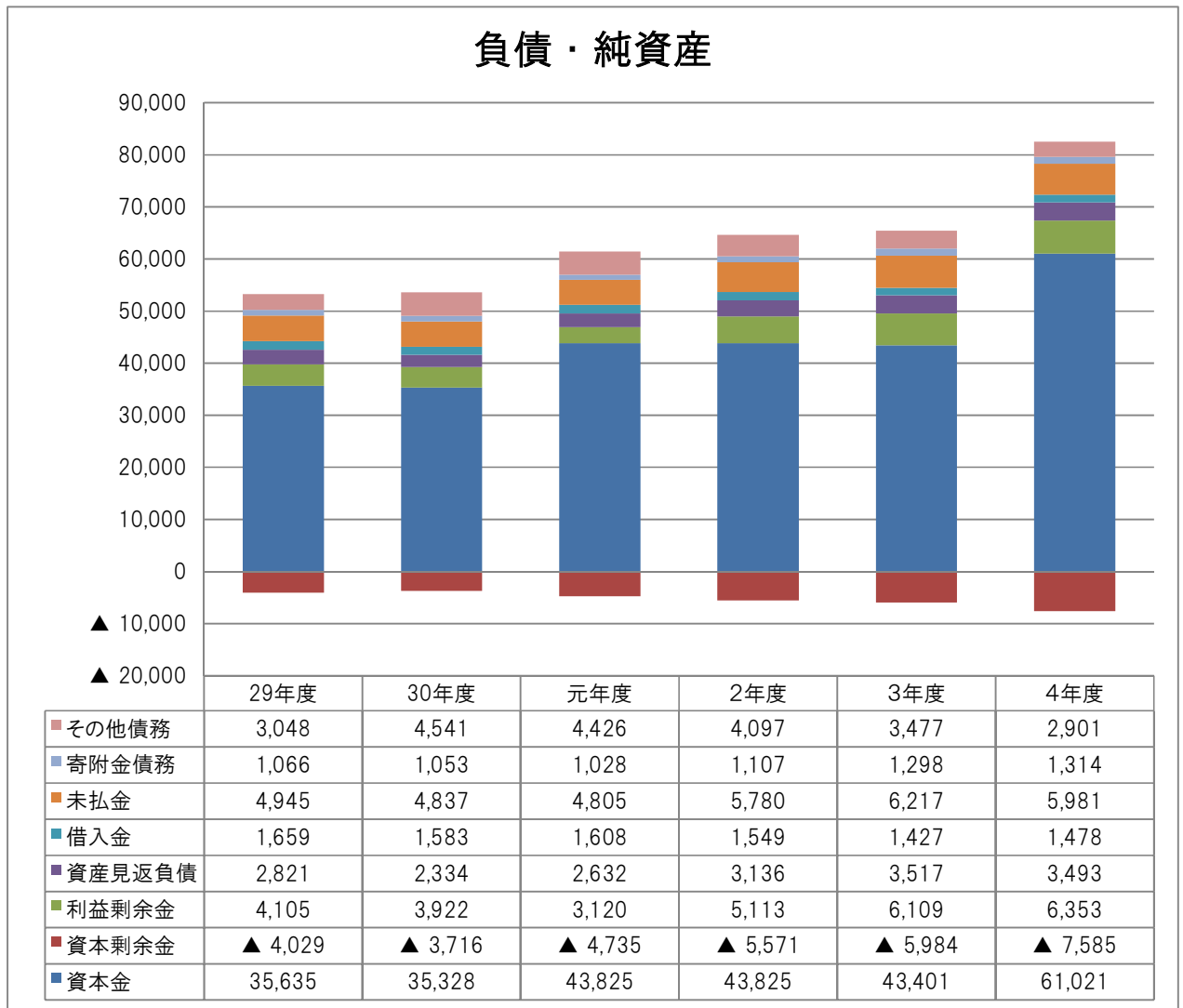


	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
流動資産	10,032	9,921	9,107	12,571	14,007	13,659
その他	1,623	224	211	223	231	203
図書	850	854	857	833	797	762
設備	4,138	6,509	6,524	6,327	6,337	5,730
建物	21,071	20,839	28,130	27,202	26,209	42,724
土地	11,535	11,535	11,881	11,881	11,881	11,881

(単位: 百万円)

区分	4年度	構成比	資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
流動資産	流動資産	18.2%	・ 現預金、有価証券(1年以内) ・ 未収附属病院収入 ・ 未収学生納付金収入 ・ 病院医薬品在庫	▲ 348	・ 現預金の減▲1,071 ・ 補助金未収入金減▲12 ・ 未収附属病院収入の増637 ・ 病院医薬品等の在庫増94
固定資産	図書等	その他	・ 建設仮勘定 ・ 特許権 ・ 意匠権 ・ 長期貸付金	▲ 28	・ 無形固定資産等の減▲27
		図書	・ 書籍 ・ CD-ROM ・ 雑誌(製本済みのもの)	▲ 35	・ 図書除却による減▲42 ・ 図書取得による増7
	設備建物	設備	・ 実験、診療器具 ・ 車両運搬具	▲ 607	・ 減価償却費による減▲2,230 ・ 新規取得等による増1,630
		建物	・ 校舎、研究所 ・ 病院 ・ 宿舎、学生寮 ・ ファミリーハウス	16,515	・ 減価償却費による減▲1,950 ・ 建物の出資等による増18,482
	土地	土地	・ 上記の敷地 ・ グラウンド	0	

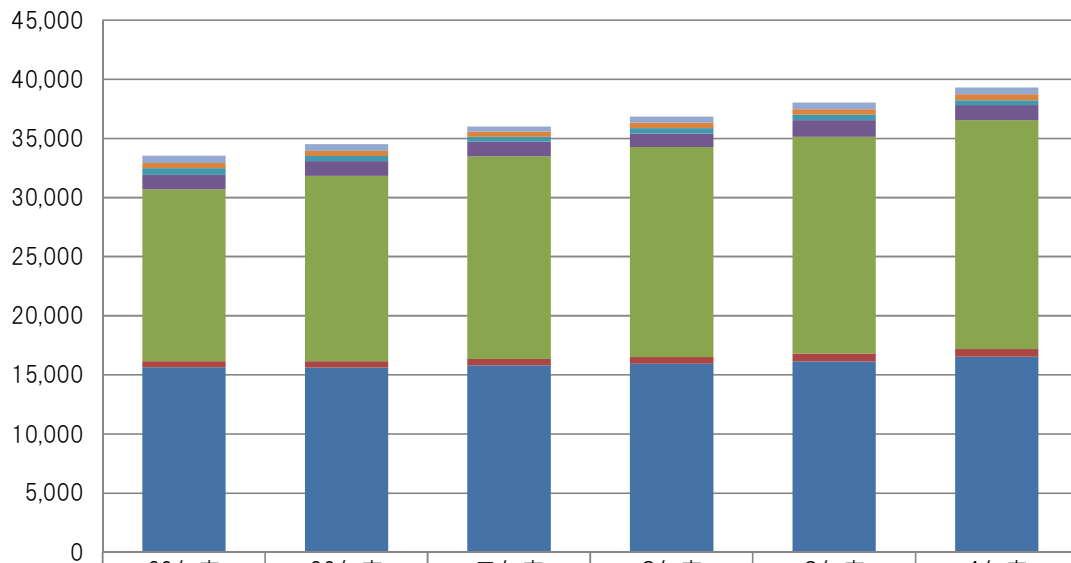
負債・純資産



(単位：百万円)

区分	4年度	構成比	負債・純資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
負債	その他債務	3.9%	・ 繰越して使用予定の交付金 ・ 繰越して使用予定の受託研究費 ・ 預り科学研究費補助金等	▲ 576	・ 長期未払金の減▲753 ・ 運営費交付金債務の減▲85 ・ 受託等債務の増63
	寄附金債務	1.8%	・ 繰越して使用予定の寄附金	16	・ 寄附金債務の増16
	未払金	8.0%	・ 令和4年4月支払の経費	▲ 236	・ 4月以降支払予定の未払金 (工事、工器器具備品等)の減▲236
	借入金	2.0%	・ 大学病院の借入金残高 (機器整備)	51	・ 北海道からの借入金の増51
	資産見返負債	4.7%	・ 建築設備取得に使用した交付金、 授業料、寄附金の減価償却費を 除いた残高	▲ 24	・ 減価償却による減▲505 ・ 資産除去等による減▲55 ・ 資産取得による増537
純資産	利益剰余金	8.5%	・ 繰越積立金(第1・2期分) ・ 未処分利益(当期総利益)	244	・ 繰越(目的)積立金取崩▲563 ・ 当期総利益808
	資本剰余金	▲ 10.1%	・ 施設費や目的積立金による固定 資産の取得額 ・ 当期の損益外減価償却累計額	▲ 1,601	・ 減価償却費による減▲1,941 ・ 施設整備等による増396
	資本金	81.4%	・ 法人移行時に道から土地・建物 等の現物で受けた出資金	17,620	・ 建物の出資による増17,620

経常費用

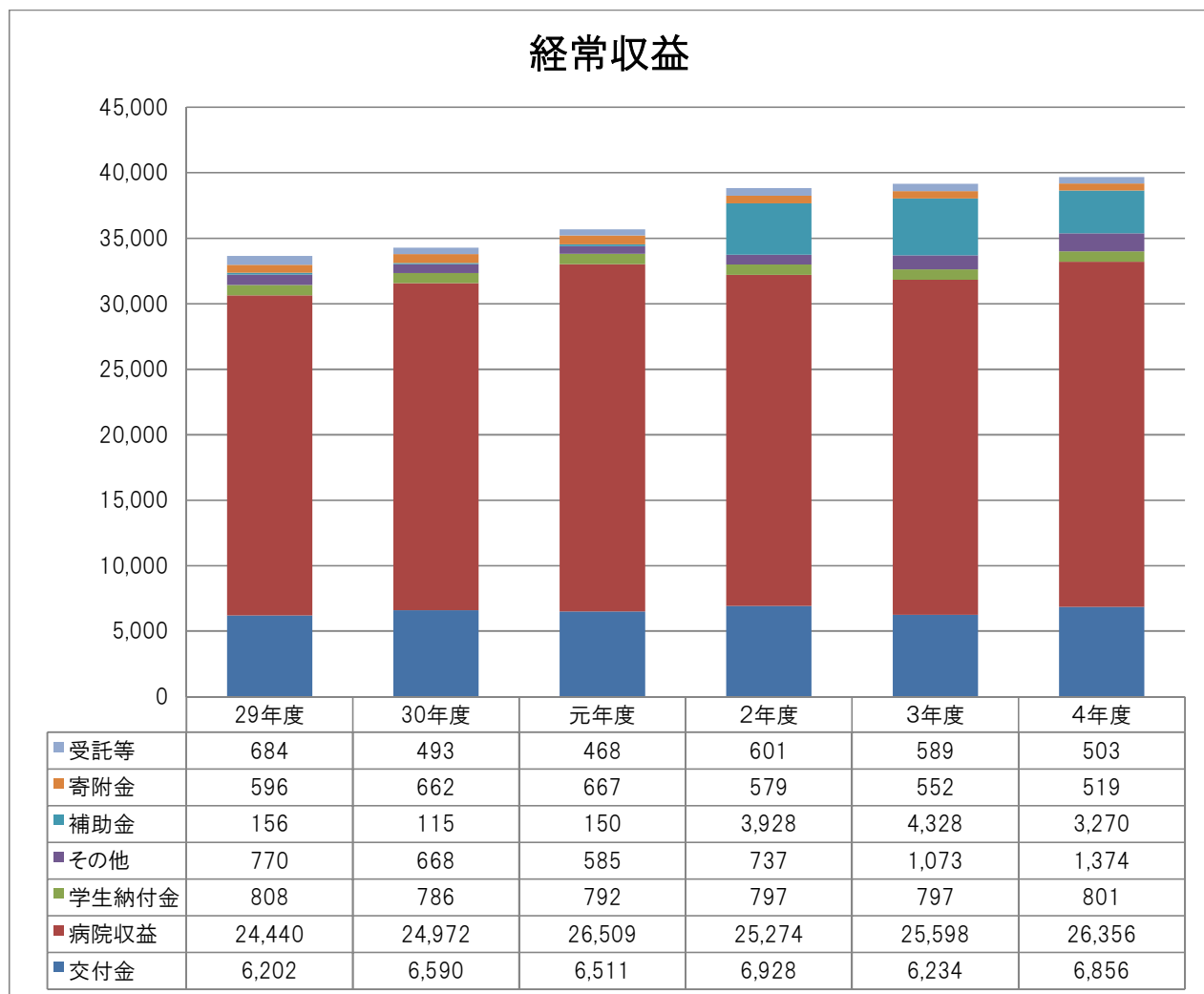


■ 教育経費	619	571	457	512	567	581
■ 教育研究支援経費	421	441	428	457	477	489
■ 受託研究費等	571	437	405	450	460	416
■ 研究経費	1,207	1,242	1,237	1,139	1,390	1,271
■ 診療経費	14,553	15,682	17,120	17,776	18,327	19,358
■ 一般管理費等	513	536	554	556	685	653
■ 人件費	15,646	15,615	15,817	15,956	16,127	16,535

(単位: 百万円)

区分	4年度	構成比	費用説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
教育	教育経費	1.5%	・ 学生に対し行われる教育に要する経費	14	・ R3教育研究等初度調弁費の減▲43 ・ 電気・ガス料金の増34 ・ 設備保守点検委託費の増18 ・ 攻読料減免の増8
	教育研究支援経費	1.2%	・ 附属総合情報センター(図書館含む)に要する経費	12	・ 報酬・委託・手数料の増7
研究	受託研究等	1.1%	・ 外部から委託を受けて行う受託研究 ・ 民間等からの研究者及び研究費を受入、共同で行う研究	▲44	・ 受託事業消耗品費の減等▲12
	研究経費	3.2%	・ 研究に要する経費	▲119	・ R3動物実験施設等初度調弁費減▲110 ・ 特許補償金の減▲57 ・ 電気・ガス料金の増69
診療	診療経費	49.3%	・ 大学病院における診療の実施に要する経費	1,031	・ 医薬材料費の増468 ・ 検査等委託費の増29 ・ 減価償却費の増185 ・ 電気・ガス料金の増343
管理運営	一般管理費等	1.7%	・ 管理運営に要する経費 ・ 財務費用	▲32	・ 報酬・委託手数料の減▲84 ・ 水道光熱費の増53
	人件費	42.1%	・ 一般運営財源、寄附金、補助金を財源とする給与等(受託に係る人件費は含まない)	408	・ 退職手当の減▲31 ・ 欠員補充等に伴う職員の増271 ・ 給与改定による増99 ・ 看護職処遇改善手当による増52

経常収益



(単位：百万円)

区分	4年度	構成比	収益説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
外部資金	受託等	1.5%	・ 受託研究 ・ 受託事業 ・ 共同研究	▲ 86	・ 受託研究等の収益化額の減▲86
	寄附金	1.4%	・ 奨学寄附金 ・ 寄附講座	▲ 33	・ 寄附金事業の収益化額の減▲33
	補助金	11.0%	・ 国、道等からの補助金収益	▲ 1,058	・ 新型コロナウイルス関連補助金の減▲1,631 ・ 物価高騰対策支援関連補助金の増269
その他	その他	2.7%	・ 研究関連収入（間接経費） ・ 財産貸付料収入 ・ 資産見返負債戻入 ・ 受取利息	301	・ 施設費収益の減▲287 ・ 資産見返負債戻入の増111 ・ 雑益の増478
学納金	学生納付金	2.0%	・ 授業料 ・ 入学料 ・ 検定料	4	
診療	病院収益	65.3%	・ 附属病院収入（外来・入院）	758	・ 文書料収益の減▲1 ・ 入院診療収益の増296 ・ 外来診療収益の増463
交付金	運営費交付金	15.9%	・ 運営費交付金収入	622	・ 資産購入増による収益化額の減▲6 ・ 交付額の増543 ・ 精算額85

利益と利益処分の推移

(単位：百万円)

区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
経常収益	33,656	34,285	35,682	38,843	39,171	39,678
経常費用	33,531	34,528	36,021	36,847	38,034	39,304
経常利益	126	▲ 242	▲ 339	1,996	1,137	374
臨時損益	▲ 3	438	▲ 3	▲ 3	▲ 4	▲ 5
目的積立金取崩	0	0	0	0	0	439
繰越積立金取崩	0	276	199	0	919	-
当期総利益	122	472	▲ 143	1,993	2,051	808

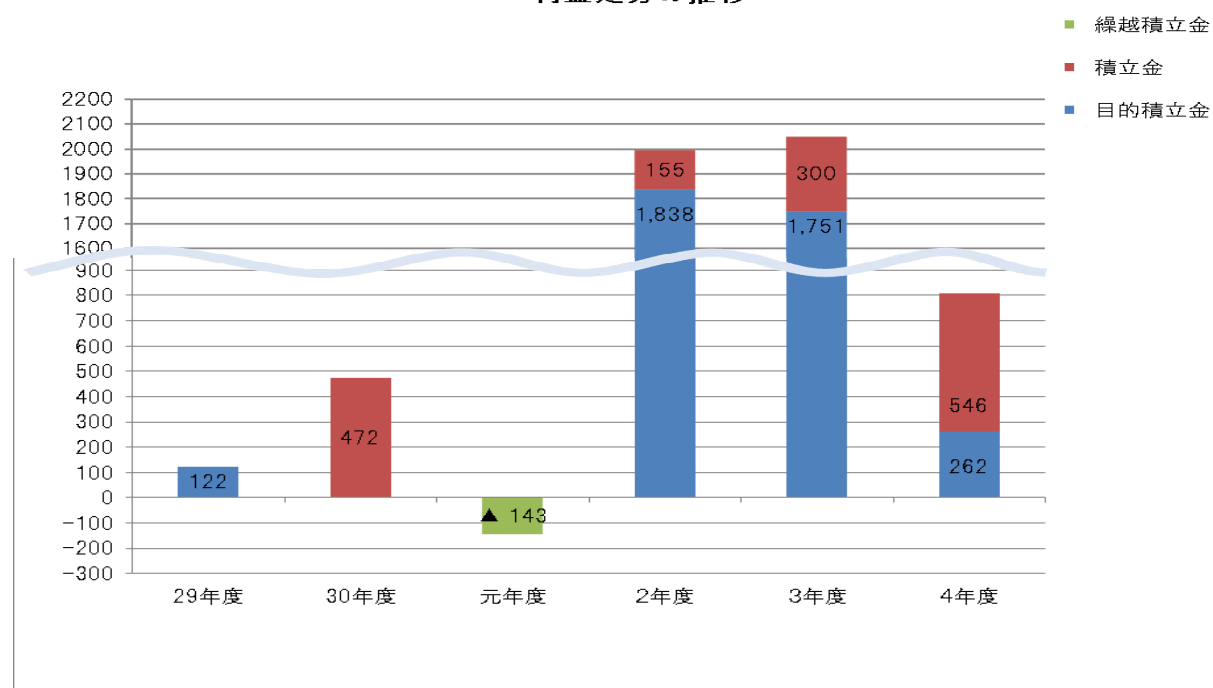
当期総利益の内訳

(単位：百万円)

区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
目的積立金	122	-	-	1,838	1,751	262
繰越積立金	-	-	▲ 143	-	-	-
積立金	-	472	-	155	300	546

経常利益は、損益計算書に計上している経常収益と経常費用の差額です。
 当期総利益は、経常利益に固定資産除却損等の臨時損益と目的・繰越積立金取崩を加えた利益であり、目的積立金と積立金に利益処分されます。

利益処分の推移



4年度	利益処分	利益処分の発生要因等
当期総利益 808百万円	目的積立金 262	・ 各種収益増及び経費削減により生じる、現金の裏付けのある利益
	積立金 546	・ 減価償却などの会計処理により生じる、現金の裏付けのない利益

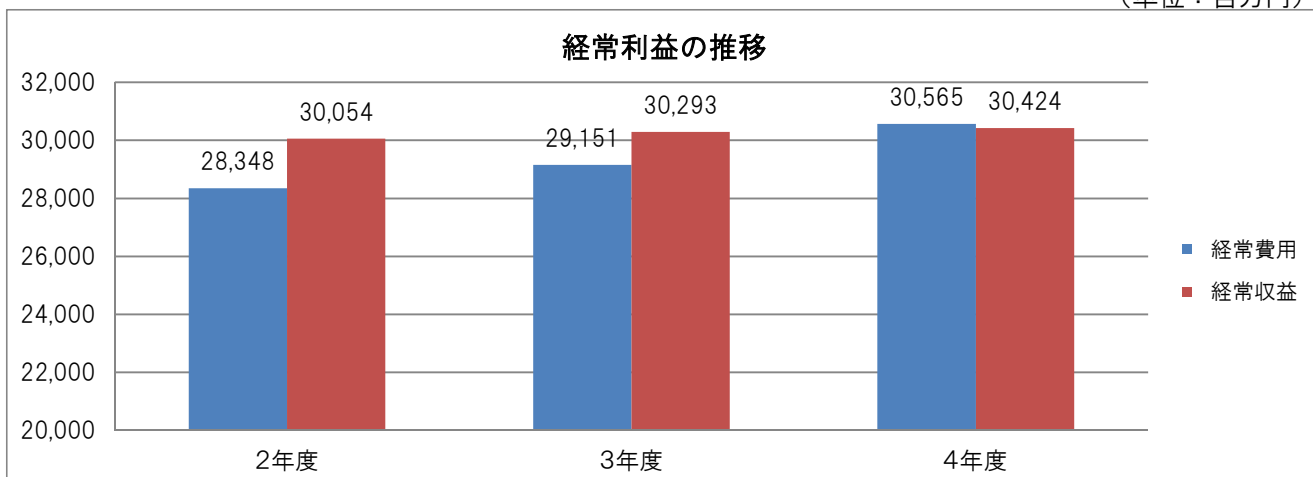
附属病院経常損益の推移

(単位：百万円)

区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
経常費用	24,943	26,050	27,576	28,348	29,151	30,565
経常収益	24,918	25,668	27,172	30,054	30,293	30,424
経常利益	▲25	▲382	▲404	1706	1,142	▲141

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)



【経常費用】

(単位：百万円)

4年度		経常費用説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	80	・受託研究費、受託事業費 ・財務費用	8	・受託研究費等の増8
	0.3%			
人件費	11,128	・臨床系教員 ・医員、研修医 ・看護師、技師、事務職員	377	・欠員補充等に伴う職員の増234 ・給与改定による増70 ・看護職処遇改善手当による増52
	36.4%			
診療経費	19,358	・診療の実施に要する経費 (医薬品、診療材料、医療 消耗品器具費、委託費、 減価償却費、修繕費、 機器保守費、水道光熱費 等経費)	1,031	・医薬材料費の増468 ・検査等委託費の増29 ・減価償却費の増185 ・電気・ガス料金の増343
	63.3%			

【経常収益】

(単位：百万円)

4年度		経常収益説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	3,505	・受託研究、寄附金等の 外部資金収益 ・資産見返負債戻入等	▲1,190	・新型コロナウイルス関連補助金の減▲1,631 ・物価高騰対策支援関連補助金の増269
	11.5%			
病院運営 費交付金 収益	564	・附属病院に係る交付金	564	・運営費交付金の受入額の増等564
	1.9%			
病院収益	26,356	・外来収益 ・入院収益 ・文書料	758	・入院診療収益増296 (患者数：202,724人、単価：90,670円) ・外来診療収益増463 (患者数：382,824人、単価：20,924円)
	86.6%			

キャッシュ・フローの推移

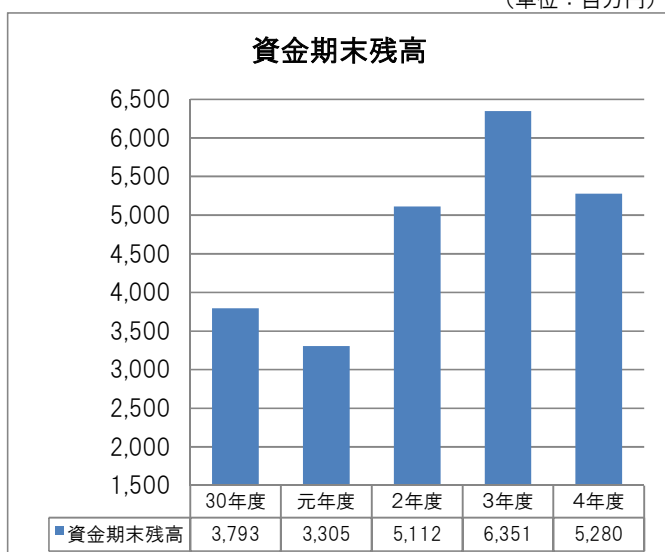
(単位：百万円)

表示区分	説明	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
①業務活動による キャッシュ・フロー	通常の業務活動（投資・財務活動以外） の取引に係る収入と支出の差額	1,454	1,381	1,137	3,917	2,651	1,661
	(収入) 運営費交付金、附属病院収入、 授業料、受託研究等、寄附金	32,854	34,308	35,666	38,451	39,447	38,493
	(支出) 人件費支出、原材料・商品・ サービス購入による支出	▲ 31,400	▲ 32,928	▲ 34,529	▲ 34,534	▲ 36,796	▲ 36,832
②投資活動による キャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る 収入と支出の差額	▲ 935	▲ 1,105	▲ 760	▲ 1,163	▲ 378	▲ 1,739
	固定資産の取得及び売却の取引	▲ 936	▲ 1,107	▲ 761	▲ 1,163	▲ 379	▲ 1,739
	(収入) 施設費による収入、資産売却に よる収入	586	1,093	681	372	645	708
	(支出) 建物・設備の取得、除却	▲ 1,522	▲ 2,201	▲ 1,442	▲ 1,535	▲ 1,024	▲ 2,447
	投資資産の取得及び売却の取引	1	2	1	1	1	1
	(収入) 定期預金の払戻、有価証券の償還	1,868	1,859	1,849	1,348	1,852	2,853
	(支出) 定期預金・有価証券の取得	▲ 1,867	▲ 1,857	▲ 1,848	▲ 1,347	▲ 1,851	▲ 2,852
③財務活動による キャッシュ・フロー	資金調達及び返済の取引に係る収入と 支出の差額	▲ 277	▲ 771	▲ 863	▲ 948	▲ 1,034	▲ 993
	(収入) 長期借入による収入	879	534	634	580	533	630
	(支出) 借入金の返済、利息の支払、 ファイナンスリース債務の返済	▲ 1,156	▲ 1,300	▲ 1,497	▲ 1,528	▲ 1,567	▲ 1,623
④資金 増減額	当期中の現預金（拘束性のない手元 現金・当座預金・普通預金）増減額	242	▲ 495	▲ 487	1,806	1,239	▲ 1,071
⑤資金 期首残高	前期末現預金残高	4,046	4,288	3,793	3,306	5,112	6,351
⑥資金 期末残高	当期末現預金残高	4,288	3,793	3,306	5,112	6,351	5,280

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

6

(単位：百万円)



○キャッシュ・フロー計算書は、一定期間における「お金（キャッシュ）」の「流れ（フロー）」を表しています。

○損益計算書には表れない固定資産取得や借入・借入返済等も含めて、「現金」の受払の全てを表示しています。

○損益計算書だけでは読み取ることができない経営状況、経営努力、経営方針等を把握することが可能であり、民間企業においても重視されている計算書です。

○財務指標（年度間比較）

指標	指標算出方法	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	増減（前年比較）	評価
流動比率 【貸借対照表】	流動資産÷流動負債	132.5 %	143.0 %	129.6 %	146.6 %	149.5 %	150.5 %	1.0 %	高い値が良い ↑
	流動資産	10,032 百万円	9,921 百万円	9,107 百万円	12,571 百万円	14,007 百万円	13,659 百万円	▲ 348 百万円	
	流動負債	7,570 百万円	6,938 百万円	7,025 百万円	8,573 百万円	9,372 百万円	9,078 百万円	▲ 294 百万円	
自己資本比率 【貸借対照表】	資本（純資産）÷（負債+資本（純資産））	72.5 %	71.2 %	74.4 %	73.5 %	73.2 %	79.8 %	6.6 %	高い値が良い ↓
	資本（純資産）	35,711 百万円	35,534 百万円	42,210 百万円	43,367 百万円	43,526 百万円	59,789 百万円	16,263 百万円	
	負債	13,539 百万円	14,348 百万円	14,499 百万円	15,669 百万円	15,936 百万円	15,168 百万円	▲ 768 百万円	
経常利益比率 【損益計算書】	経常利益÷経常収益	0.4 %	▲ 0.7 %	▲ 1.0 %	5.1 %	2.9 %	0.9 %	▲ 2.0 %	高い値が良い ↓
	経常利益	126 百万円	▲ 242 百万円	▲ 339 百万円	1,996 百万円	1,137 百万円	374 百万円	▲ 763 百万円	
	経常収益	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	39,171 百万円	39,678 百万円	507 百万円	
人件費対業務費 【損益計算書】	人件費÷業務費	47.4 %	45.9 %	44.6 %	44.0 %	43.2 %	42.8 %	▲ 0.4 %	低い値が良い ↑
	人件費	15,646 百万円	15,615 百万円	15,817 百万円	15,956 百万円	16,127 百万円	16,535 百万円	408 百万円	
	業務費	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	38,650 百万円	1,302 百万円	
一般管理費対業務費 【損益計算書】	一般管理費÷業務費	1.5 %	1.6 %	1.6 %	1.5 %	1.8 %	1.7 %	▲ 0.1 %	低い値が良い ↓
	一般管理費	508 百万円	536 百万円	554 百万円	555 百万円	685 百万円	653 百万円	▲ 32 百万円	
	業務費	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	38,650 百万円	1,302 百万円	
外部資金比率 【損益計算書】	(受託研究収益+受託事業等収益+共同研究収益+寄附金収益)÷経常収益	3.8 %	3.4 %	3.2 %	3.0 %	2.9 %	2.6 %	▲ 0.3 %	高い値が良い ↓
	①受託研究収益+受託事業等収益+共同研究収益	684 百万円	492 百万円	468 百万円	601 百万円	589 百万円	503 百万円	▲ 86 百万円	
	②寄附金収益	596 百万円	662 百万円	667 百万円	579 百万円	552 百万円	519 百万円	▲ 33 百万円	
	経常収益	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	39,171 百万円	39,678 百万円	507 百万円	
外部資金比率 (科学研究費補助金を含む) 【損益計算書】 【附属明細書】	(受託研究収益+受託事業等収益+共同研究収益+科学研究費補助金)÷経常収益	4.9 %	4.3 %	4.2 %	4.0 %	3.9 %	3.4 %	▲ 0.5 %	高い値が良い ↓
	上記 ①+②	1,280 百万円	1,154 百万円	1,135 百万円	1,180 百万円	1,141 百万円	1,022 百万円	▲ 119 百万円	
	科学研究費補助金	368 百万円	335 百万円	365 百万円	383 百万円	382 百万円	334 百万円	▲ 48 百万円	
	経常収益	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	39,171 百万円	39,678 百万円	507 百万円	
診療経費比率 【損益計算書】	診療経費÷附属病院収益	59.5 %	62.8 %	64.6 %	70.3 %	71.6 %	73.4 %	1.9 %	低い値が良い ↓
	診療経費	14,553 百万円	15,682 百万円	17,120 百万円	17,776 百万円	18,327 百万円	19,358 百万円	1,031 百万円	
	附属病院収益	24,440 百万円	24,972 百万円	26,509 百万円	25,274 百万円	25,598 百万円	26,356 百万円	758 百万円	
1病床あたりの附属病院収益 【損益計算書】	附属病院収益÷病床数	26.1 百万円	28.8 百万円	30.3 百万円	28.9 百万円	29.3 百万円	32.3 百万円	3.0 百万円	高い値が良い ↑
	附属病院収益	24,440 百万円	24,972 百万円	26,509 百万円	25,274 百万円	25,598 百万円	26,356 百万円	758 百万円	
	病床数	938 床	867 床	874 床	874 床	874 床	816 床	▲ 58 床	
学生1人あたりの教育経費 【損益計算書】	教育経費÷学生数	474 千円	449 千円	352 千円	386 千円	420 千円	435 千円	15 千円	高い値が良い ↑
	教育経費	619 百万円	571 百万円	457 百万円	512 百万円	567 百万円	581 百万円	14 百万円	
	学生数	1,305 人	1,272 人	1,299 人	1,325 人	1,349 人	1,335 人	▲ 14 人	
教員1人あたりの研究費 【損益計算書】	研究経費÷教員数	3,079 千円	3,074 千円	3,085 千円	2,848 千円	3,519 千円	3,185 千円	▲ 334 千円	高い値が良い ↑
	研究経費	1,207 百万円	1,242 百万円	1,237 百万円	1,139 百万円	1,390 百万円	1,271 百万円	▲ 119 百万円	
	教員数	392 人	404 人	401 人	400 人	395 人	399 人	4 人	
教育経費対業務費比率 【損益計算書】	教育経費÷業務費	1.9 %	1.7 %	1.3 %	1.4 %	1.5 %	1.5 %	▲ 0.0 %	高い値が良い ↑
	教育経費	619 百万円	571 百万円	457 百万円	512 百万円	567 百万円	581 百万円	14 百万円	
	業務費	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	38,650 百万円	1,302 百万円	
研究経費対業務費比率 【損益計算書】	研究経費÷業務費	3.7 %	3.6 %	3.5 %	3.1 %	3.7 %	3.3 %	▲ 0.4 %	高い値が良い ↑
	研究経費	1,207 百万円	1,242 百万円	1,237 百万円	1,139 百万円	1,390 百万円	1,271 百万円	▲ 119 百万円	
	業務費	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	38,650 百万円	1,302 百万円	

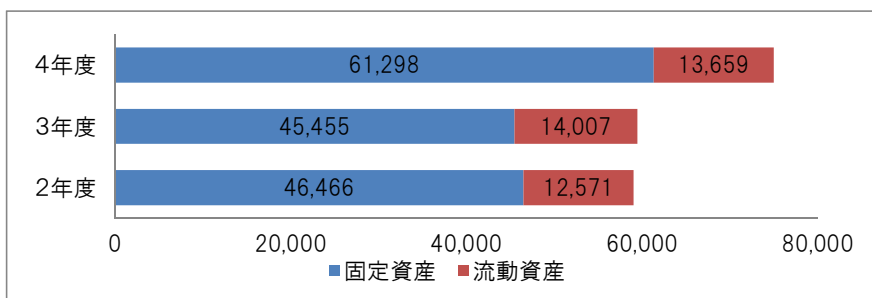
(※) 財務指標の評価は、個々の内部事情を個別に判断しなければ一概にその良否を言えないが、あくまで一般的な財務指標の高低の評価を記載した。

資料編

○貸借対照表

資産の部

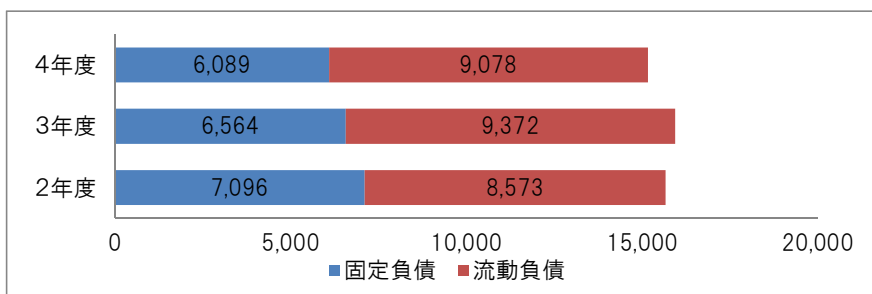
74,957 百万円
 対前年度
 15,495 百万円



資産の約8割は、土地・建物等の固定資産により構成されており、そのほとんどは平成19年4月1日の公立大学法人化により道から承継されたものです。
 令和4年度においては、病院の稼働の増加に伴う未収病院収入の増加により流動資産である現金預金が減少した一方、固定資産が建物(大学管理棟、教育研究棟)の出資等により増加したことから、資産が増加しています。

負債の部

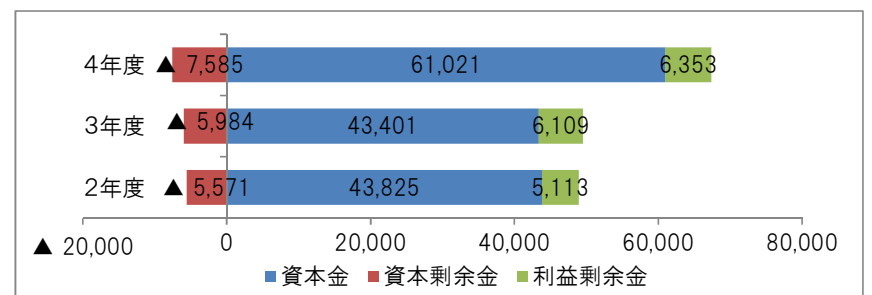
15,167 百万円
 対前年度
 ▲769 百万円



負債は、会計基準上の分類である固定・流動の別のほかに、将来的に支払義務を負う債務（借入金等）と、支払義務のない会計的負債（資産見返負債等）に分類できます。
 令和4年度においては、固定負債はリース料金の支払に伴う長期未払金の減により減少するとともに、流動負債は翌年度支払となる年度末の物品調達等が減少し、未払金が減少したことから、負債が減少しています。

純資産の部

59,789 百万円
 対前年度
 16,264 百万円



純資産には、公立大学法人化の際に道から出資された資本金（道出資金）のほか、資本の増減取引により発生する資本剰余金と、業務の遂行上生じた利益からなる利益剰余金があります。
 令和4年度においては、資本金は建物の出資により増加、資本剰余金は減価償却費により減少、利益剰余金は当期総利益の発生により増加しています。

資 産

土地	11,881 百万円	対前年度	0 百万円
建物等	42,724 百万円	対前年度	16,515 百万円
建設仮勘定	16 百万円	対前年度	▲ 5 百万円

本学は札幌市内に約10万㎡の敷地を有し、キャンパスのほか、臨床教育研究棟、附属病院、基礎医学研究棟、国際医学交流センター、記念ホールなどの施設を有しています。

令和4年度においては、建物（大学管理棟・教育研究棟）の出資等により、建物等が増加となっています。

工具器具備品	5,699 百万円	対前年度	▲ 601 百万円
図書	762 百万円	対前年度	▲ 35 百万円

工具器具備品は、教育・研究・診療等で使用する機械装置の取得など、適切に設備等を更新している一方、減価償却が発生していることから、減少となっています。

図書については、教育研究を行う上で基礎となる重要な資産として位置づけており、教育・研究の質の維持向上のため、図書整備経費を確保しています。

現金・預金	5,280 百万円	対前年度	▲ 1,071 百万円
-------	-----------	------	-------------

期末の現金・預金は、利益剰余金のほか、主に年度末の未払金見合いの現金や寄附金等の外部資金の繰越額等からなります。

令和4年度においては、病院の稼働の増加に伴う未収病院収入の増加により流動資産である現金預金が減少となっています。

未収入金	7,671 百万円	対前年度	627 百万円
未収学生納付金収入	3 百万円	対前年度	2 百万円
未収附属病院収入	5,305 百万円	対前年度	637 百万円
その他未収金	2,363 百万円	対前年度	▲ 12 百万円

期末の未収入金は、未収学生納付金収入、未収附属病院収入、それ以外の未収入金（受託研究等、受託事業等の未収金など）からなります。

令和4年度においては、年度末の病院の稼働の増加に伴い、翌々月以降の入金となる基金・国保未収額の増により、未収附属病院収入が増加となっています。

負 債

資産見返負債	3,493 百万円	対前年度	▲ 24 百万円
--------	-----------	------	----------

道から交付される運営費交付金等で購入した固定資産（償却資産）の残存価格を負債として計上したもので、公立大学法人の会計の特徴的な勘定科目です。対象資産の減価償却額と同額を収益へ振り替えることで、収入を見込むことのできない教育研究用の機器備品等の減価償却費計上による費用超過が生じない仕組みとなっています。返済義務を伴う法律上の負債とは性格が異なります。

令和4年度においては、減価償却等により減少となっています。

借入金（固定負債）	1,478 百万円	対前年度	51 百万円
借入金（流動負債）	579 百万円	対前年度	▲ 75 百万円

道からの借入金は附属病院の医療機器等の固定資産を購入するための財源となっており、毎年度借り入れを行っています（1年据え置きの4年間での償還）。
なお、1年以内に返済が予定されている金額は流動負債に計上しています。

運営費交付金債務	378 百万円	対前年度	▲ 85 百万円
----------	---------	------	----------

道から交付を受けた運営費交付金は、一旦負債として計上した後、教育・研究等の実施状況に応じて収益に計上します。原則として期間の進行に伴い収益化しますが、特定の費用の発生と同時に収益化すべきものについては、運営費交付金債務として翌年度への繰越が認められています。

寄附金債務	1,314 百万円	対前年度	16 百万円
-------	-----------	------	--------

企業や地域の皆様から本学へお寄せいただいた寄附金の残額等を表します。受入時は貸借対照表の負債に計上し、寄附の目的に沿って使用した後に、費用進行基準により損益計算書の収益の部に計上しています。

未払金	5,981 百万円	対前年度	▲ 236 百万円
-----	-----------	------	-----------

ほとんどが年度末の各種請求に対する支払債務であり、それらは翌年度の当初に支払いが行われます。令和4年度においては、翌年度支払となる年度末の物品調達等が減少し、未払金が減少となっています。

純 資 産

資本金	61,021 百万円	対前年度	17,620 百万円
-----	------------	------	------------

法人化にあたって道から出資を受けた資産の総額です。
令和4年度においては、建物の出資により、増加しています。

資本剰余金	▲ 7,585 百万円	対前年度	▲ 1,601 百万円
-------	-------------	------	-------------

非償却資産の取得、施設費や積立金を財源とした資産の取得等に伴う増加や特定償却資産の減価償却相当額見合いの減少などを計上しています。

利益剰余金	6,353 百万円	対前年度	244 百万円
-------	-----------	------	---------

業務に関連して発生した剰余金を示します。
令和4年度は当期総利益が808百万円となっています。

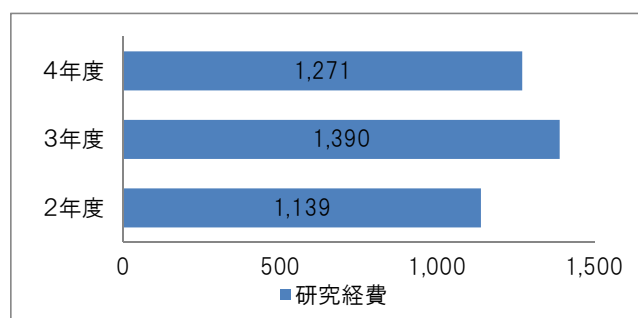
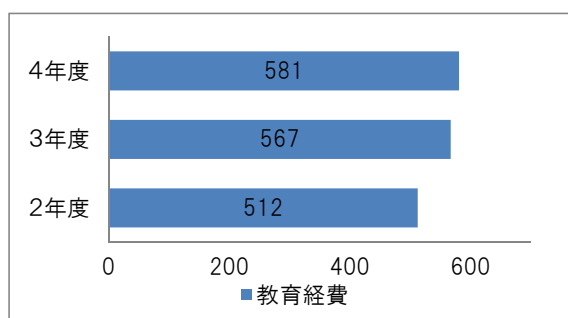
○損益計算書

経常費用

教育経費	研究経費
581 百万円 対前年度 14百万円	1,271 百万円 対前年度 ▲119百万円

・入学試験、学部教育など学生等に対して行われる教育に要する経費です。奨学金（授業料等の減免額に相当）、教育環境の維持費用等が含まれています。

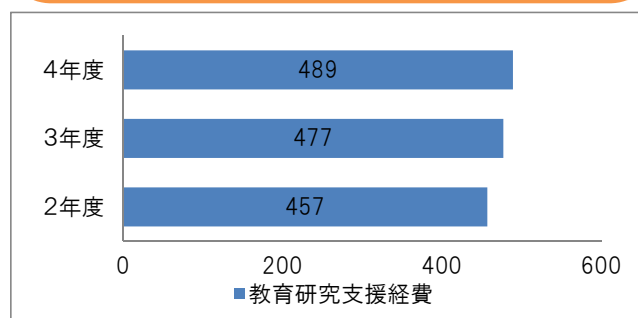
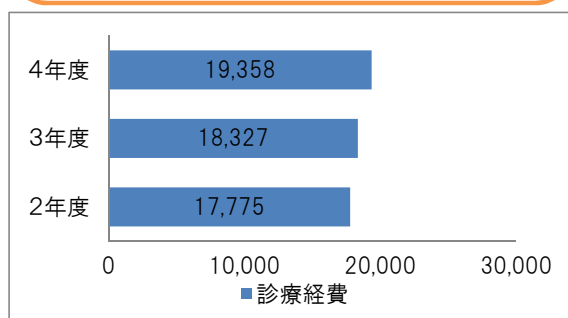
・各学部や研究所等における研究に要する経費です。
・令和4年度においては、動物実験施設等初度調弁費等が減少しています。



診療経費	教育研究支援経費
19,358 百万円 対前年度 1,031百万円	489 百万円 対前年度 12百万円

・附属病院における附属病院収益の獲得に要する経費です。
・令和4年度は医薬材料費等が増加しています。

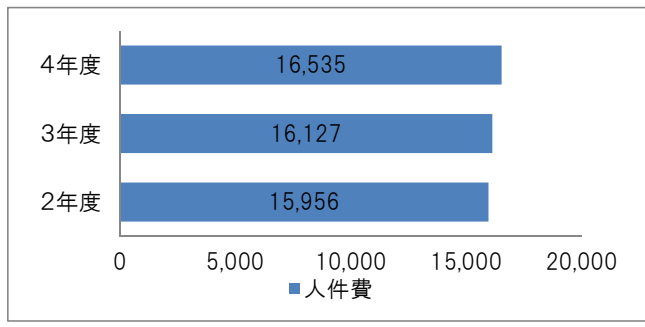
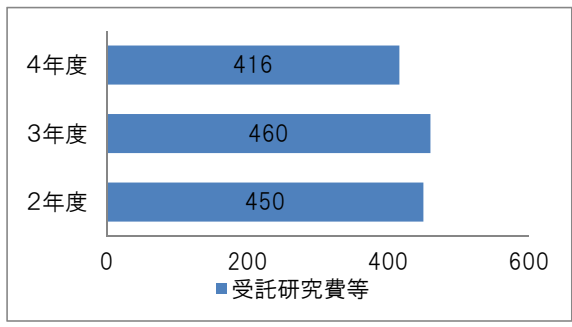
・附属総合情報センター等の大学全体の教育・研究の双方を支援するために設置された組織の運営に要する経費です。なお、書籍など図書の取得については、資産の部の図書に含まれています。



受託研究費等	人件費
416 百万円 対前年度 ▲44百万円	16,535 百万円 対前年度 408百万円

・受託研究、共同研究及び受託事業の実施に要する経費です。研究者個人に交付される科学研究費補助金はここには含まれません。

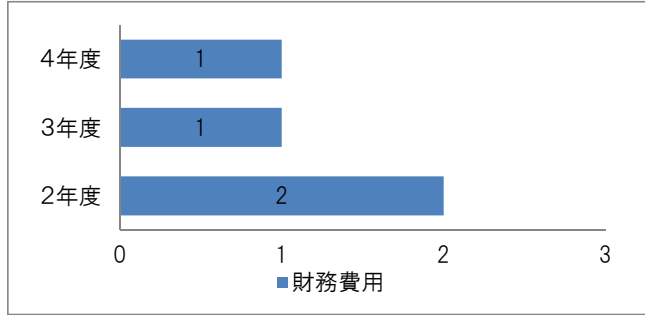
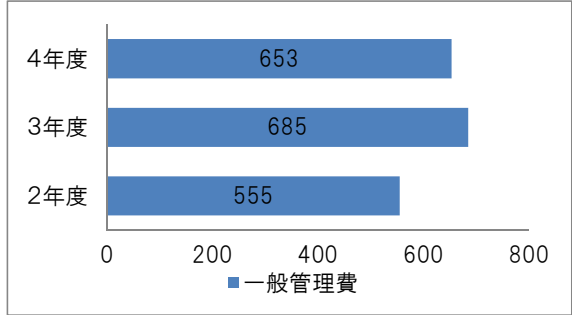
・役員への報酬・賞与・退職金及び教職員への給与・賞与・退職金が含まれます。
・令和4年度は欠員補充等に伴う人員増により増加しています。



一般管理費	財務費用
653 百万円 対前年度 ▲32百万円	1 百万円 対前年度 0百万円

・大学全体の管理運営を行うための経費及び他の区分に属さない業務経費が含まれます。
・令和4年度は報酬・委託手数料が減少しています。

・道からの借入金に係る利息の支払いです。

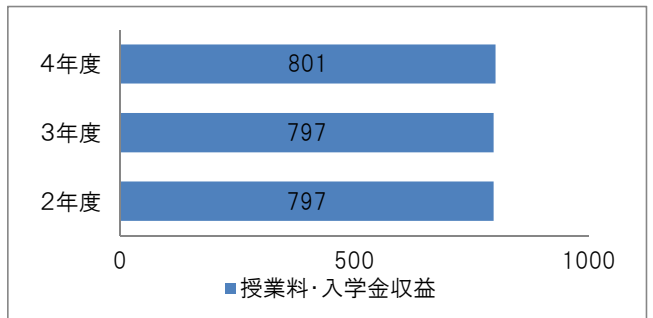
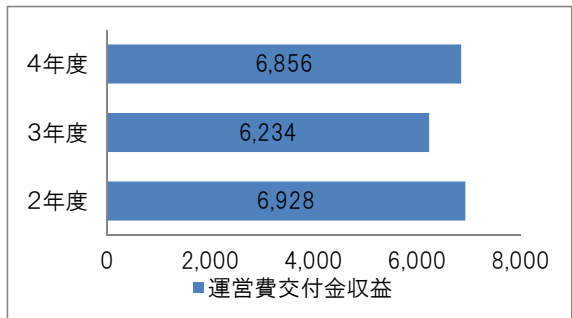


経常収益

運営費交付金収益	授業料・入学金収益
6,856 百万円 対前年度 622百万円	801 百万円 対前年度 4百万円

・ 大学運営を行うために道から措置される交付金による収益です。
 ・ 令和4年度は運営費交付金の交付額が増加しています。

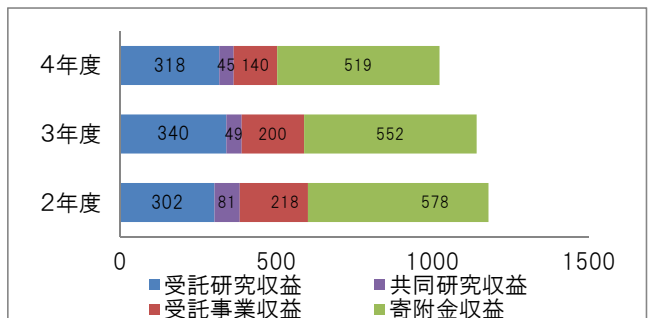
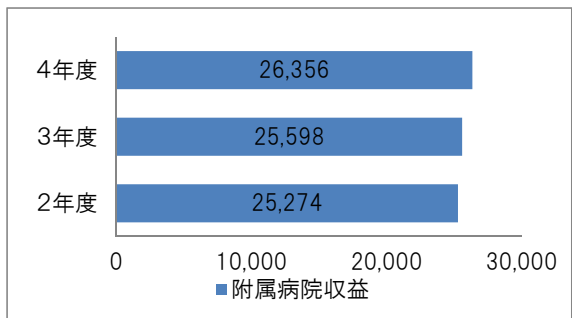
・ 授業料や入学金、検定料などの学生納付金による収益です。



附属病院収益	受託研究・寄附金収益
26,356 百万円 対前年度 758百万円	1,022 百万円 対前年度 ▲119百万円

・ 病院における診療による収益です。
 ・ 令和4年度は、入院診療収益及び外来診療収益ともに増加しています。

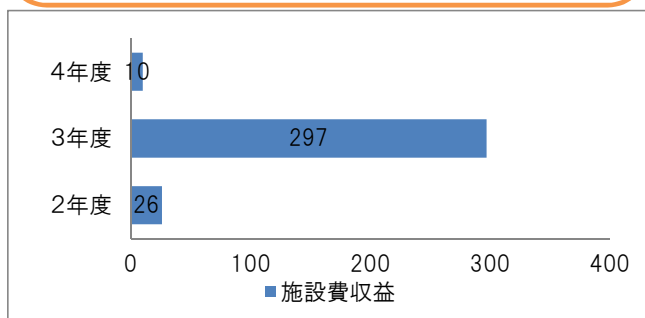
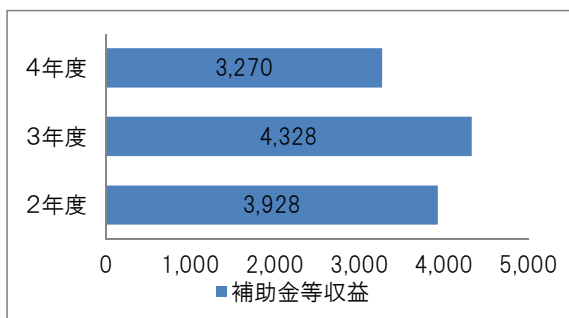
・ 受託研究、共同研究、受託事業、寄附金などの外部資金の受入に伴う業務実施収益です。



補助金等収益	施設費収益
3,270 百万円 対前年度 ▲ 1,058百万円	10 百万円 対前年度 ▲ 287百万円

- ・国等から交付された補助金等の受入に伴う業務実施収益です。
- ・令和4年度は、新型コロナウイルス関連の補助金が減少しています。

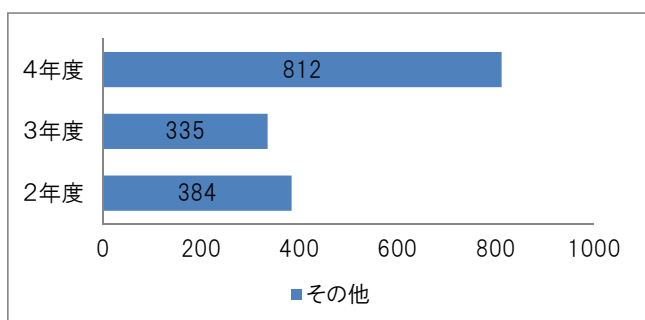
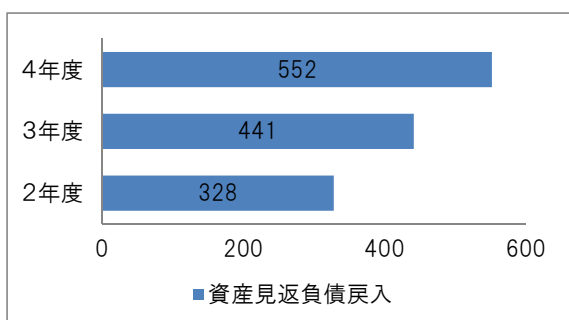
- ・施設費により措置されたもののうち、資本を構成しない修繕費、附帯事務費等の費用化された額に対応する収益です。
- ・令和4年度は、大学管理棟、教育研究棟の移転が令和3年度に完了したことにより、収益化額が減少しています。



資産見返負債戻入	その他
552 百万円 対前年度 111百万円	812 百万円 対前年度 477百万円

- ・固定資産を取得した際に計上した資産見返負債を減価償却に対応して取り崩す、地方独立行政法人会計の特徴的な科目です。
- ・令和4年度は、過去に補助金等財源で取得した建物・工具器具備品の減価償却費の増に伴い、収益が増加しています。

- ・財産貸付料収入などの雑益が含まれます。
- ・令和4年度は、特許に係る実施料の増により、増加しています。



財務報告書 2023

令和5年9月発行

発行・編集 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局
経営企画課財務室